

# 官報

號外

明治三十二年一月二十二日

日曜日

印刷局

## 第十三回 貴族院議事速記録第十四號

明治三十二年一月二十一日(土曜日)午前十時二十一分開議

議事日程 第十四號 明治三十二年一月二十一日

午前十時開議

- 第一 北海道舊土人保護法案(政府提出案) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第三 海港檢疫法案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)
- 第四 銀行條例中改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)
- 第五 銀行ニ關スル法律ニ定メタル過料ニ關スル法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)
- 第六 所得稅法改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)
- 第七 關稅定率法及同法附屬輸入稅表中改正法律案(政府提出案) 第二讀會
- 第八 高等學校及帝國大學増設ニ關スル建議案(子爵三島彌太郎君外一會) 議

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

(小原書記官朗讀)

一昨十九日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領シタリ

明治三十一年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

明治三十一年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

同日衆議院提出行政裁判法中改正法律案ヲ受領シタリ

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル政府提出千葉縣茨城縣境界變更法律案ノ回付ヲ受ケタリ

同日子爵三島彌太郎君、久保田讓君ヨリ七十四名ノ賛成ヲ以テ高等學校及帝國大學増設ニ關スル建議案ヲ發議セラレタリ

各委員長副委員長左ノ適當選セラレタリ

著作權法案特別委員會

委員長 子爵谷 干 城君 副委員長 加藤 弘之君

特許法案外二件特別委員會

委員長 子爵長岡 護 美君 副委員長 子爵曾我 祐準君

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ本日ノ日程ニ移リマス

○加藤弘之君 著作權法ノ委員會ヲ開キタウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 定足數ニ少シ缺ケル恐ガアリマスカラ暫ク御見合ヲ願ヒマス

○加藤弘之君 私一人デ他ノ者ハ此所ニ出テ居リマセヌ、唯私一人引ケバ宜イノデアリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) ツレナレバ宜シウゴザイマス、北海道舊土人保護法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

(小原書記官朗讀)

北海道舊土人保護法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十二年一月十八日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

右 北海道舊土人保護法案

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十一年十二月三日

内閣總理大臣 侯爵山縣有朋

內務大臣 侯爵西鄉從道

(本案衆議院ノ修正ハ左ノ一條ニ止ル其修正ニ付ス他ハ政府提出案ト異ナルナシ)

第六條 北海道舊土人ニシテ疾病、不具、老衰又ハ幼少ノ爲自活スルコト能ハサル者ハ明治七年第百六十二號達恤救規則ニ依ルノ外仍之ヲ救助レ

救助中死亡シタルトキハ埋葬料ヲ給スルコトヲ得

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

北海道舊土人保護法案

北海道舊土人保護法案

第一條 北海道舊土人ニシテ農業ニ從事スル者又ハ從事セムト欲スル者ニハ一戸ニ付土地一万五千坪以內ヲ限り無償下付スルコトヲ得

第二條 前條ニ依リ下付シタル土地ノ所有權ハ左ノ制限ニ從フヘキモノトス

一 相續ニ因ルノ外讓渡スコトヲ得ス

二 質權抵當權地上權又ハ永小作權ヲ設定スルコトヲ得ス

三 北海道廳長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ地役權ヲ設定スルコトヲ得ス

四 留置權先取特權ノ目的トナルコトナシ

前項ノ土地ハ下付ノ年ヨリ起算シテ三十箇年ノ後ニ非サレハ地租及地方稅ヲ課セス又登錄稅ヲ徵收セス

舊土人ニ於テ從前ヨリ所有シタル土地ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得ルニ非

サレハ相續ニ因ルノ外之ヲ讓渡シ又ハ第一項第二及第三ニ掲ケタル物權ヲ設定スルコトヲ得ス

第三條 第一條ニ依リ下付シタル土地ニシテ其ノ下付ノ年ヨリ起算シ十五箇年ヲ經ルモ尙開墾セサル部分ハ之ヲ沒收ス

第四條 北海道舊土人ニシテ貧困ナル者ニハ農具及種子ヲ給スルコトヲ得

第五條 北海道舊土人ニシテ疾病ニ罹リ自費治療スルコト能ハサル者ニハ藥價ヲ給スルコトヲ得

第六條 北海道舊土人ニシテ疾病、不具、老衰又ハ幼少ノ爲自活スルコト能ハサル者ハ明治七年第六十二號達恤救規則ニ依ルノ外仍之ヲ救助シ救助中死亡シタルトキハ埋葬料ヲ給スルコトヲ得

第七條 北海道舊土人ノ貧困ナル者ノ子弟ニシテ就學スル者ニハ授業料ヲ給スルコトヲ得

第八條 第四條乃至第七條ニ要スル費用ハ北海道舊土人共有財産ノ收益ヲ以テ之ニ充ツ若シ不足アルトキハ國庫ヨリ之ヲ支出ス

第九條 北海道舊土人ノ部落ヲ爲シタル場所ニハ國庫ノ費用ヲ以テ小學校ヲ設クルコトヲ得

第十條 北海道廳長官ハ北海道舊土人共有財産ヲ管理スルコトヲ得

北海道廳長官ハ內務大臣ノ認可ヲ經テ共有者ノ利益ノ爲ニ共有財産ノ處分ヲ爲シ又必要ト認ムルトキハ其ノ分割ヲ拒ムコトヲ得

北海道廳長官ノ管理スル共有財産ハ北海道廳長官之ヲ指定ス

第十一條 北海道廳長官ハ北海道舊土人保護ニ關シテ警察令ヲ發シ之ニ二十五圓以内ノ罰金若ハ二十五日以下ノ禁錮ノ罰則ヲ附スルコトヲ得

第十二條 此ノ法律ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

第十三條 此ノ法律ノ施行ニ關スル細則ハ內務大臣之ヲ定ム

(政府委員松平正直君演壇ニ登ル)

○政府委員(松平正直君) 本案提出ノ理由ハ理由書ニ詳ニ書イテゴザイマス

カラ御承知デゴザイマセウガ御承知ノ通北海道ノ舊土人即チ「アイノ」ハ同ジク帝國ノ臣民デアリナガラ北海道ノ開クルニ從ッテ内地ノ營業者ガ北海道ノ土地ニ向ッテ事業ヲ進ムルニ從ヒ舊土人ハ優勝劣敗ノ結果段々局促シテ生活ノ途ヲ失フト云フ情勢ハ皆サシ御推測デアラウト考ヘマス、同ジク帝國臣民タル者ガ斯ノ如キ困難ニ陷ラシムルハ即チ一視同仁ノ聖旨ニ副ハナイ次第ト云フ所ヨリ此法律ヲ制定シテ舊土人「アイノ」モ其所ヲ得ルヤウニ致シタイト云フニ外ナラヌコトデゴザイマス、ドウゾ御協賛ヲ願ヒマス

○子爵曾我祐準君 前ヨリ質問ガアリマス、本案ハ誠ニ結構ナ案デ本員等ハ此案ノ出ルコトヲ數年前ヨリ希望致シテ居リマシタガ少シ此案ニ附イテ質問ヲ致シテ置キタウゴザイマス、第二條ノ末項ヲ見ルト舊土人ガ從來ヨリ所有シテ居ル土地ニ附イテノ處分ガ出テ居リマスガ、舊土人ニシテ舊來所持シテ居ル最も大キナ地積ハ一戸ニシテドレ位デアリマスカ、ソレデ此二條ノ末項ノ精神ハ長官ノ許可ヲ得ナケレバ相續ノ外ハ賣ルコトモ貸スコトモ出來ヌト云フ法律デアリマスガ、是ハ第一條ノ一万五千坪以内云々ト云フコトガアリマスガ舊土人ニモ一万五千坪マデハ有テ得ラレウニ北海道長官ニ於テ處分スル精神ノヤウニ思ハレマスガ其邊ヲ少シ承ッテ置キタウゴザイマス

(政府委員白仁武君演壇ニ登ル)

○政府委員(白仁武君) 曾我子爵ノ唯今ノ御尋ニ少シ分リ兼ねタコトガアリマスガ、モウ一應願ヒタウゴザイマス

○子爵曾我祐準君 第二條ノ末項ニ「舊土人ニ於テ從前ヨリ所有シタル土地ハ」ト處分ノコトガ書イテアリマスガ、舊土人ニシテ最も多ク土地ヲ所有シテ居ル者ハ一戸ニ附イテドレ位デアアルカ、其調査ガアルナラ承リタイ、末項ノ主意ハ第一條ノ一万五千坪以内ニ限リ「アイノ」ニ有タシムル精神デアリマスカ、其一万五千坪マデハ處分スルガ一万五千坪以外ハ成ルベク所有サセヌデ置キタイト云フ主意デアリマス

○政府委員(白仁武君) 御答ヲ致シマス、前段ノ御尋ハ一個人ノ所有致シテ居リマスル土地ノ最大町歩ハ唯今調ハゴザイマセヌ、併シ私ノ記憶ニ據リマシテ御答致シマスレバ三十五町歩ヨリ四五十町歩マデ持ッテ居ル者ガアルヤニ覺エテ居リマス、後段ノ御尋ハ無代下付ヲ致シマスル最高度ヲ示シタモノデアリマス、一万五千坪ト云フノハ……是ヨリ多クハ土人ニハ土地ヲ持タセナイト云フ精神デハゴザイマセヌ

○子爵曾我祐準君 サウ云フ問デハナイ、ソレヨリ少クハ失ハセヌカト云フ問デアリマス

○政府委員(白仁武君) ソレヨリ少クハ失ハセヌカト云フノハ……

○子爵曾我祐準君 一万五千坪ヲ有タセルヤウニ、是非自分ノ都合ニ依ッテ賣ラウトシテモ一万五千坪ヨリ少クナラヌヤウニサセル精神デアアルカト云フノデ……

○政府委員(白仁武君) 左様デゴザイマス

○田中芳男君 チョット質問ヲ致シタウゴザイマス、唯今曾我子爵ヨリ御質問ガゴザイマシテ其邊ノ所ハ能ク分リマシタガ、尙ホチヨットソレニ附加ヘタヤウナ質問ガ致シタウゴザイマス、北海道土人ト云フモノハ從來内地人同様ニ所有スルコトガ出來ヌコトニナッテ居リマシタガ、此度カラシテ斯様ニ束縛シタ譯ニナリマシタノデアリマス

(政府委員白仁武君演壇ニ登ル)

○政府委員(白仁武君) 御答ヲ致シマス、内地人ト同様ノ手續ニ依リマスレバ土人ニ對シテモ同様ノ取扱ヲ致シマス、此一條ノ精神ハ内地人同様ノ手續ヲ要シマセヌデ是ダゲノモノヲ無代付與致スト云フ精神デアリマス

○田中芳男君 尙ホ一ツ承リタイ此共有財産ト申シマスルモノハ凡ソドウ云フヤウナモノガゴザイマス、チヨット心得ノタメニ承リタウゴザイマス、モウ一ツ序デナガラ御尋シマスガ、北海道土人ト云フモノ、頭ニ舊ノ字ヲ附ケマシタノハドウ云フ理由デ舊ノ字ヲ頭ヘ附ケマシタカ、是モ序ニ承ッテ置キマス

○政府委員(白仁武君) 御答致シマス財産ハ凡ソ今日ノ調ニ依リマスレバ三種ゴザイマス、第一ニ明治十五年ノ際ニ宮内省ヨリシテ千圓ノ御下賜金ガアリマス、共有財産……教育費トシテ、其次ニ文部省カラシテ又二千圓バカリ下付ニナリマシタノガアリマス、其三千圓ノモノヲ唯今マデ銀行ハ預ケマシテ其利子ガ又三千圓バカリニナッテ今日デハ六千圓バカリノ高ニ上ッテ居リマス、是ガ共有財産ノ一種デアリマス、ソレカラ開拓使ノ頃ニ土人ヲ保護致シマスル目的デ漁場ヲ持タセマシタノガアリマス、ソレハ十勝ノ舊土

人ニ於テ從前ヨリ所有シタル土地ハ

テ居ル者ハ一戸ニ附イテドレ位デアアルカ、其調査ガアルナラ承リタイ、末項ノ主意ハ第一條ノ一万五千坪以内ニ限リ「アイノ」ニ有タシムル精神デアリマス

カ、其一万五千坪マデハ處分スルガ一万五千坪以外ハ成ルベク所有サセヌデ置キタイト云フ主意デアリマス

御答ヲ致シマス、前段ノ御尋ハ一個人ノ所有致シテ居リマスル土地ノ最大町歩ハ唯今調ハゴザイマセヌ、併シ私ノ記憶ニ據リマシテ御答致シマスレバ三十五町歩ヨリ四五十町歩マデ持ッテ居ル者ガアルヤニ覺エテ居リマス、後段ノ御尋ハ無代下付ヲ致シマスル最高度ヲ示シタモノデアリマス、一万五千坪ト云フノハ……是ヨリ多クハ土人ニハ土地ヲ持タセナイト云フ精神デハゴザイマセヌ

サウ云フ問デハナイ、ソレヨリ少クハ失ハセヌカト云フ問デアリマス

ソレヨリ少クハ失ハセヌカト云フノハ……

是非自分ノ都合ニ依ッテ賣ラウトシテモ一万五千坪ヨリ少クナラヌヤウニサセル精神デアアルカト云フノデ……

左様デゴザイマス

人ニ對シテデアリマスガ、其漁場ヲバ後年ニ至リマシテ賣拂ヒ或ハ人ニ預ケ  
杯致シマシテ今日ノ所デハワレガ三萬圓バカリノ金高ニ上ボテ居リマスル、  
是ガ第二デアリマスル、モウ一ツハ日高國ニ是モ開拓使時分カラノ起源デア  
リマセウガ今日デハ三百圓前後ノ金ニナツタ共有金ガアリマスル、是ガ第三  
デアリマスル、此三種ノモノガ目下取調ニナツテ居リマスル所ノ共有財產デ  
アリマスル、舊土人ノ此「舊」ト云フ文字ハ開拓使ノ頃ニ「アイヌ」ヲ稱シテ舊  
土人ト稱ヘタガ宜カラウト云フ達ガアリマスル、デ其達ハ唯今ニ於キマシテ  
モ至極尤達ト認メマシタニ依ツテ此舊ト云フ文字ヲ加ヘマシテ法律ニ舊土  
人保護法ト云フ名目ニ致シマシタ

○男爵船越衛君 此舊土人ハ今日ハ幾人アリマスガ

○政府委員(白仁武君) 一万……男女老幼合テ一万七千人バカリデアリマス  
○男爵船越衛君 尙ホ御尋シマスガ、追々舊土人ガ減ルト云フコトハ已ムヲ  
得ヌコトデゴザイマスガ、果シテ年々減ルノデゴザイマスガ

○政府委員(白仁武君) 御答致シマス、此近年ノ戸口統計表ニ依ツテ見マス  
レバサマデ年々減ル數字モ現レテ居リマセヌガ、文化文政天保アタリノ諸種  
ノ書キ物ニ依ツテ考ヘテ見マスレバ其當時カラ今日マデハ餘程ノ人口ガ減少  
シタモノ、ヤウニ見エマス

○男爵船越衛君 モウ一ツ御尋シマス、此舊土人ノ貧困ナル者ノ子弟ガ就學  
スルトキニハ授業料ヲ給スルコトヲ得ト云フコトガアリマス、ソレカラ第九  
條ニ舊土人ノ部落ヲ成シタル場所ニハ國庫ノ費用ヲ以テ小學校ヲ設ケルト云  
フコトガアリマスガ、是ハ至極宜イコトニ考ヘマスガ、然ルニ北海道ノ土地ノ  
話ヲ聞クト云フト舊土人ハドウシテモ教育ガ出來ナイ、イロ／＼世話ヲシテ  
モ出來ヌト云フトコトデ一時ハ土人ノ……(低聲聽取シ難シ)其後ハソレ程遠  
モシナイ、斯ウ云フヤウナコトヲ聞キマシタガ、サウ云フコトハ如何デゴザ  
イマスガ、餘程此教育ノ效果ガゴザイマスルカ、勿論内地人ノヤウニモイキ  
マスマイガ、其結果ハ如何デゴザイマスガ

○政府委員(白仁武君) 御答致シマス、土人ノ教育ノコトハ當局ニ於テモ餘  
程注意ヲ致シテ獎勵ヲ致シテ居リマスルガ、何分ニモ劣等ノ人種デアリマス  
ルカラ十分ノ結果ヲ見ルコトハ出來マセヌ、併ナガラ教ヘマセバ讀書ナリ  
習字ナリ或ハ手仕事ナリ可ナリニヤリマスル、少々ノ手加ヘマシテ此教育  
ノコトニ力ヲ盡シマスレバ無論内地人種ト競争致ス譯ニモイキマスマイガ、  
今日ノヤウナ無學文盲蠢爾タル有様デ日ヲ暮スト云フヤウナコトハアリマス  
マイカト存ジマス

○男爵船越衛君 モウ一ツ御尋申シマス、此土人ノコトハ無論今日マデモ内  
地人ト同様ナコトノヤウニ先刻御答モアツタガ、現在往々見ルト隨分中ニハ  
開墾ニ力ヲ入レタ人モアル、然ルニ内地ノ人カラ隨分欺カレテ或ハ脅迫サレ  
テ開イタ所モ遂ニ捨テ……現在開墾シタ所ヲ捨テ、往々ヤウナコトニ往々  
々私ハ見受ケタコトモアル、サウシテ土人ハ何分内地人ヲ恐レテ山奥ヘ逃  
ルト云フ體裁デ、ソレデ斯ウ云フ法ノ出ルノハ宜イガ餘程教ヘモシ保護モシ  
テヤラナイト土地ハ可ナリニ與ヘラレテモ所有權ガドウヤラト云フコトモ無  
論知リヤウガナイ、ソレデ此法ヲ出シタ以上ハ此法ヲ能ク行レテ往々上ニハ  
何ゾ此上ニ御方法ガアルノデゴザイマスガ、其邊ヲ伺ヒタイ  
○政府委員(白仁武君) 御答致シマス、唯今ノ御話ノ通ニ土人ガ開墾致シマ

シタ所或ハ土人ニ當テガヒマシタ土地ヲバ内地人ニ唯今マデ奪ハレルト云フ  
例シハ往々ゴザイマスル、ソレデソレヲ防ギマスルタメニ第二條ノ制限ヲ置  
イタ次第デアリマスルガ、此制限ヲバ極實效ヲ奏シマスルヤウニ應用ヲ致シ  
マスルノハ唯道廳長官、支廳長並ニ戸長及裁判所ニ於キマシテ土地所有權  
ノ保護ヲ致シマスル所ノソレ／＼ノ機關ニ於キマシテ十分ニ氣ヲ附ケマシ  
テ取扱ヲ致シマスル外ニアリマスマイカト存ジマス、ソレダケノコトハ此法  
律ガ出マシタ以上ハ十分ニヤリ遂ゲル精神デアリマス

○男爵船越衛君 モウ一ツ此教育デゴザイマスガ是マデハドウモ前述ベタヤ  
ウニ左程ノ結果ハナイガ斯ク國庫カラ費用ヲ出シテヤルコトガ出來ルナラバ  
ドウゾ教育ノ居クヤウニナリタイト斯ウ考ヘマス、然ルニ現地ヘ行ツテ見ル  
ト云フト隨分學校モ建ツテ居ルガ來手モナイ、ソコヘ來ネバ教育ガナイ、ソ  
レカト云フテ見ルト耶蘇ノ人達、耶蘇宗教ノ方ハ誠ニ懇ニシテ能ク覺エル、  
隨分教育ガ居クト云フトコトデアリマス、サウスルト教ヘヤウノ良否ニ依ツテ  
效果ニ區別ガアラウト思ヒマス、其邊ニモ餘程是カラハ其方法宜シキヲ得ラ  
レヤウカト思ヒマスガドウシテ普ク教育ヲ行渡ラス御考デアリマスガ

○政府委員(白仁武君) 御答致シマス、何分此内地ノ兒童ガ這入ツテ居リマ  
ス學校ニ參リマシタ土人ノ小供ハ學校ニ於テモ矢張優勝劣敗ノ結果デ十分ニ  
修業ヲ致シマセヌ或ハ譏謗サレルトカ或ハ壓迫サレルトカ其他種々内地ノ  
兒童ノタメニ苦ミテ感ズルモノト見エマシテ學校ニ出マシテモ十分ニ修業ヲ  
致シマセヌノデゴザイマス、ソレ故ニ此法律ガ出マシタナラバ土人ガ多ク部  
落ヲ致シテ居リマス所ニ於テハ故ラニ此土人ノタメニ學校ヲ開キマシテ又其  
學校ノ教科ノヤリ方ハ力ヲ簡易ノ方法ニ依リマシテ高等ノ教育ヲ授ケマスル  
土臺ト爲ルヤウナコトハ先ゾ措キマシテ實地生活ニ必要ナル極簡易ナル教育  
方法ニ依リマシテ教授ヲ致シ見込デアリマス

○伊澤修二君 本員モチヨット質問シタイデスガ今日ノ所デハマダ土人ノ  
メニノミ設ケテアル學校ハ確ニナイト考ヘテ居リマス、唯此土人ハ日本ノ即  
チ内地人ノ子弟ト共ニ小學ニ入ツテ居ルケレドモ唯今御答辯ノヤウナコトニ  
考ヘテ居リマスガ併シ成績ノ點ハ私モ自ラ見タコトモアリマス、又承ル所ニ  
依リマシテモ尋常小學位ノ程度デハ内地人ノ子弟ト土人ト餘リ變ラナイト云  
フコトハ承ツテ居リマス、果シテ左様デゴザイマスルカ、又或ハ到底今日ノ内  
地人ノ尋常小學ノ程度デハ土人ニハ適セヌト云フ御考デアリマスガ

○政府委員(白仁武君) 御答致シマス、成ル程尋常小學ニ於キマシテ讀書習  
字等ノ如キハ内地人ト少モ變リマセヌ、唯土人ノ兒童ニ於キマシテハドウシ  
テモ内地人ヨリ劣リマスル一點ハ此計算ノ點デアリマス、即チ算術デアリマ  
ス、此算術ノ一科ハドウ致シマシテモ内地人ノ生徒程ノ點數ヲ得ルコトハ出  
來マセヌ、ソレダケガ違デアリマス  
○高橋喜惣次君 此第四條デゴザイマス、第四條ノ「舊土人ニシテ貧困ナル  
者ニハ農具及種子ヲ給スルコトヲ得」トアリマス此貧困ナル者ノ戸數ハ凡ソ  
者ニハ農具及種子ヲ給スルコトヲ得、此農具及種子ト云フモノハ内地ノ移住民ニ  
斯ウ云フコトガアリマスヤウデアリマス、併シ此土人ニ給スルモノハ一戸ニ  
附イテドノ位ノモノヲ給スルモノデアリマセウカ、又此土人ノ給スベキ戸數  
及一戸ニ附イテドノ位カト云フト御見込ヲ伺ヒタイ、ソレカラ第九條ノ  
「土人ノ部落ヲ爲シタル場所デ國庫ノ費用ヲ以テ小學校ヲ設ケルコトヲ得ル」

## 一七〇

ニ出テ居リマスノハ是ハ府縣ニ有效ナル達デアッテ北海道ニ施行ニナッタモ  
ノデハナイノデアリマス、デ唯今茲ニ修正ノ出テ居リマスノハ今日府縣ノ  
賑恤規則ト同様に北海道ハ施行ニナッテ居リマスモノデアリマス、ツレ故ニ

ウダラウト本員考ヘマス、ツコラモ……ツレカラモウ一ツ色丹是ハ北海道ノ  
中デハアリマスガ此土人ハ殆ト今ハ知リマセヌケレドモ本員ノ考デハ色丹ニ  
ハ土人ト云フモノガ居ラヌト考ヘテ居リマス、併ナガラ今居ル土人ハ樺太カ

テ其預リ證文ヲ物品ノ取扱ニ致シマシテ物品會計官吏ガ取扱ヲ致シテ居リマ

明治三十二年一月二十一日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋

貴族院議長公爵近衛篤磨

○議長(公爵近衛篤磨君) 斯ウ云フ通牒ガアリマシタガ此際審査期限ヲ定メルト云フコトヲ直ニ議シテハ如何デアリマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ審査期限ノ件ニ移リマス

○子爵由利公正君 此審査期限ハ唯今ヨリ直ニ委員會ヲ開キマシテ午前ノ中ニ報告ヲ致シマスコトニ致シタイト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) チョット由利子爵ニ申シマスガ豫算委員ガ四十五人此席カラ退席ニナリマシテハ議場ノ定足數ニ缺ケマスルデアリマスルガ

○子爵由利公正君 ソレデアリマスレバ休憩中ニ委員會ヲ開キマシタラ宜シウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 休憩中デ、報告ハ午後一時デスカ

○子爵由利公正君 サウ致シマスルト午後一時ニ報告ヲ致シタラ宜カラウト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 分リマシタ

○子爵曾我祐準君 政府ハ緊要デアアルト要求サレルガ何故之ヲ一時間二時間ニセケレバナラヌト云フ理由ガアリマスカ、政府ハ何故ニ一時間二時間ニ承リタウゴザイマス

(政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(阪谷芳郎君) 唯今政府カラ緊急事件トシテ第三號並第六號ノ三十一年度追加豫算ヲ緊急議決アリコトヲ要求致シタ次第ヲチョット簡短ニ申述ベマス、此第三號ハ昨午既ニ衆議院ニ提出ニナリマシタ、尙ホ此第六號ハ昨年提出致シタ日ニ丁度衆議院ガ休會ニナリマシタ、ソレ故ニ政府ニ於テモ大變困ツテ居リマスルノハ此第六號ハ横濱ニ石油ノ倉庫ヲ建テマスル議案デゴザイマシテ昨年ノ暮カラ本年ノ初ニ掛ケマシテ關稅定率ノ變更其他ノ關係カラシテ石油ノ輸入ガ多クナツテ現在ノ倉庫ハ之ヲ容ル、ノ地ガナイノデ殆ド困却シテ居リマス、是ハ危險物デゴザイマスカラ條約ニ據リマスト是非政府ニ於テ倉庫ヲ建テ、特別ノ場所ニ貯藏シテヤラナケレバナラヌ、ソレデ此倉庫ヲ建テマスル費用ハ三万七千圓掛リマスガ是ハ至ッテ簡單ナ造リ方ニ致シマシテ亞鉛管鐵張デ拵ヘマスノデ此豫算ガ通過ニナリマスレバ晝夜ヲ掛ケテ凡ソ十日餘リニ之ヲ造リ上ゲマス勘定デゴザイマス、實ハ昨年中是ハ建シテ居リマス、ソレカラ第三號ハ是ハ京仁鐵道百八十万圓貸付スル豫算デ是モ昨午ノ中ニ通過シマセムト政府ハ大ニ困ル事情ガゴザイマシタガ衆議院ガ休會ニナツタメ已ムヲ得ズ今日マデ延ビテ居リマス、明日ハ休日デゴザイマスシ何分非常ニ急ガ事情モゴザイマスノデ相成ルベクハ本日ノ中ニ議定ニナルコトヲ政府ニ於テハ希望致ス次第デゴザイマス、尙ホ委細ハ委員會ニ於キマシテ陳述ヲ致シマスガ唯急ギマス理由ダケヲチョット簡短ニ申述ベデ置キマス

○男爵南岩倉具威君 モウ次ノ日程ニ移ッタノデスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 委員ノ選定ニ移ッタノデアリマス

○男爵南岩倉具威君 發言ヲシテ宜シウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

○男爵南岩倉具威君 本案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ハ例ノ如ク議長ニ於テ御選定アラントコトヲ……

○男爵玉松真幸君 贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 議長委託ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 唯今總理大臣ヨリ通牒ガアリマシタ

(太田書記官長朗讀)

明治三十一年度歳入歳出總豫算追加案第三號及第六號ハ緊急事件トシテ議決相成度此段及請求候也

○子爵曾我祐準君 本員ノ御尋シマシタ急グ理由ハ略々分リマシタ、サリナガラ之ヲ一時間ヤ二時間ニ議サナケレバナラヌト云フ理由ハ今ノ説明デハ了解致シマセヌ、抑々斯ノ如ク急グモノヲ何故ニ昨年提出ニナラズシテ本年一月ノ十四日ニ提出サレタカ、斯ノ如ク急グモノナラ、昨年中ニシタイナラ昨年ノ中ニ御出シニナッタ宜カラウ、ソレヲ一月十四日ニナツテ提出シタノハドウ云フ譯デスカ、斯ノ如ク急グモノナラ急グヤウニ政府自ラシタラ宜カラウ

○政府委員(阪谷芳郎君) 御答ヲ致シマスガ、是ハ昨年一旦提出シマシタ所ガ議院ガ休會ニナッタメニ法律ノ審査期限ガ經過致シマス次第デ政府ガ一應撤回致シマシテ更ニ再ビ提出致シタ次第デアリマス

○子爵曾我祐準君 議院ハ十二月初ニ開ケテ居リマスカラ昨年ノ十二月初ニ政府デ提出スレバ宜イ、然ルニ明治三十二年一月十四日ノ日附デ總理大臣大藏大臣ガ議院ニ提出シテ居ル、サウ急グモノナラ、アナタノ方デ急イデ出シナスツタ宜カラウニ……

○政府委員(阪谷芳郎君) ソレダカラ昨年提出致シマシタ

○子爵曾我祐準君 昨年デハナイ、今年提出ニナツテ居ル

○政府委員(阪谷芳郎君) 議院ガ休會ノタメニ審査期限ガ經過シマシタカラ一時政府デ撤回シテ更ニ提出シマシタカラ、日附ガサウナツテ居リマス

○伯爵正親町實正君 唯今ノ由利子爵ノ御發議ハ餘リ窮屈デアリマシテ必シモ休憩中一時マデト報告スルコトヲ御請合スルコトハ餘程危険カト考ヘマス、休憩中午後ヨリ開イテ審査ノ出來次第ニ報告スルヤウニ致シタイト考ヘマス、休憩中ニ必ズ報告スルコト云フコトハ同意致兼ネマス、本員ハサウ云フ動議ヲ……

○男爵本田親雄君 由利子爵ノハ餘リ急デアリマスカラ、今正親町伯爵ノ申サレタノガ穩當デアラウト思ヒマスカラ、ソレニ賛成ヲシマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 由利子爵ノ動議ハ賛成ガアリマセヌ、正親町伯爵ノ動議ハ成立チマシタガ、午後ヨリ……

○男爵千家尊福君 チョット正親町伯爵ニ對シテ私ハ確メテ置キタウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

○男爵千家尊福君 正親町伯爵ノ動議ハ午後ヨリ審査ニ取掛リ審査ノ終リ次第議場ニ報告スルト云フヤウニ承リマシタガ、審査ノ終リ次第申スト本日中ニ審査ヲ終レバ直ニ報告スル、若シ本日中ニ審査ガ終ラヌケレバドウスル御考デアリマスカ、ソレヲ一應承ツテ置キタウゴザイマス

○伯爵正親町實正君 極端ヲ申セバサウ云フ場合ニナリマスカ知リマセヌガ左程日間取ルコトモアリマスマイ、別段後トノ期限ヲ定メズトモ十分間ニ合フト云フ考デアリマス

○子爵板倉勝達君 本員ハチョット正親町伯爵ニ伺ヒタイ、午後ヨリ審査ヲ終ッテ報告スルトスレバ、此四十五名ガ引ケタラ議事ガ成立ツマイ、ドウシテモ不都合ガ生ズルト思ヒマス、由利子爵ノ說ノヤウニドウシテモ休憩中ニ終ラヌケレバ此議場ガ定足ニ缺ケマセウ

○議長(公爵近衛篤磨君) 板倉子爵ニチョット注意致シマスガ若シ正親町伯

爵ノ動議ガ成立チマスルト其結果トシテ休憩ノ間ガ延ビルト云フコトニ歸著スルダラウト思ヒマス

○子爵板倉勝達君 ハア、ソナラ宜シイト述フ

正親町伯爵ニ賛成ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半数ト認メマス

○子爵曾我祐準君 少數ト認メマス、調査ヲ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ氏名點呼ヲ行ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ氏名點呼ヲ行ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 氏名點呼ノ結果ヲ御報道シマス、出席總數百五十一、可トスル議員七十六、否トスル議員七十五、正親町伯爵ノ動議ハ成立チマシテゴザイマス、海港檢疫法案、政府提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告、吉井伯爵……

(伯爵吉井幸藏君演壇ニ登ル)

○伯爵吉井幸藏君 諸君、海港檢疫法案、特別委員會ノ經過竝ニ其結果ヲ御報告シマス、此委員會ハ本月十二日ニ委員長及副委員長ノ互選ヲ致シマシテ十六日十八日兩日ニ於キマシテ會議ヲ開キマシテゴザイマス、會議ニ於キマシテハ隨分種々ナ質問モ出來マシテ十分審議ヲ遂ゲマシタ所ガ此海港檢疫案ニ此度提出サレマシタ理由ハ現今ノ法令ノ規定ニ據リマスルト虎列刺病「ベスト」病ダケノ二病ニ對シテ適用スルコトガ出來ナイノデアリマス、ソレヲ其二病ニ限ラズシテ他ノ傳染病ニモ適用スルコトハ其範圍ヲ擴メタイト云フノガ趣意デゴザイマス、ソレカラ今一ツハ是マデノ規定デゴザイマスルト此二病ニ對シテモ臨時ニハ檢疫法ヲ施行セラレマシタノ規定デ開クヤウナ次第ヲ往々時機ヲ失スルコトガアリマスルト是モ臨時ノモノニセズ常設ノ檢疫所ヲ置キタイト云フノ二件ガ之ヲ提出サレタ重ナ理由ト思ヒマス、委員會ニ於キマシテモ十分詮議致シマシタガ別ニ澤山ナ修正モゴザイマセヌデ唯今御手元ヘ回ッテ居リマス僅々ノ修正ヲ加ヘテ可決スベキモノデアルト云フコトニ議決致シマシタノデアリマス、此法案中ニ海外諸港及臺灣ヨリ來ル船舶ニ對シマシテ此法案ハ行レルノデゴザイマス、此海外諸港ト日本ノ領土デハアリナガラ何故ニ外國同様ニ臺灣ヲ此處ニ加ヘマシタカト申シマスルト是ハ一ツハ支那ノ海岸ニ近ウゴザイマシテサウシテ從來ノ關係カラ致シマシテ今日ニ於キマシテモ交通ガナカノ劇シイノデゴザイマシテサウシテ其交通モ小サナ船デナカノ開港場バカリニ限ラズホウゾヘ參リマシテナカノ臺灣ノ總督ガ其取締法ハ立ッテ居リマスサウデゴザイマスケレドモ十分二行居カズシテ支那南岸ニ惡疫ガゴザイマスルト直ニ臺灣ノ方ヘ渡ルコトガゴザイマスルノデ其所デ臺灣ノ方ヲモ矢張支那南岸カラ參ル船同様ニ臺灣カラ參ル船ニモ檢疫法ヲ行フト云フノガ一ツノ理由デアルヤウデアリマス、ソレト三十年ノ傳染病豫防法ト云フモノヲ發布サレマシテ、此傳染病豫防法ト云フノ第十八條カニ、今申上ゲマシタ通臺灣ノ方ノ取調ハナカ

ナカ他ノ本邦ノ海港灣ノ取調ハ違フテ餘程ムツカシイモノデアリマス  
ラ、其傳染病豫防法ノ第三十三條ニ「海外及ヒ臺灣諸港ヨリ來ル船舶ニ對シ施  
行スル檢疫ハ別ニ之ヲ定ム」トアルノデゴザイマス、ソレニ依ツテコレガ出テ  
參ラ第二ノ譯デアリマス、ソレカラ此法案中ニ船舶ト云フコトガゴザイマス  
ルデ、コレハ他ノ法律ハニ商法若クハ船員法ト云フア、云フヤウナ法律ニ  
船舶ト云フノハ、往々制限ガ加ヘテゴザイマスガ、此法案ニ於キマシテハ船舶  
ト申シマスルハ軍艦ノ外總テ大小ニ拘ラズ船舶ト稱スベキモノハ皆這入ルノデ  
アリマス、ソレカラ第三條ニ但書ガゴザイマス、但書ノ下カラ「船ハ航海中船  
客又ハ乗組員ニテ占居シタルトキ又ハ他ノ事故ニ依リテ傳染病ニ汚染シタ  
ル疑アルトキニ限リ其ノ検査ヲ受クヘシ」トアル、其前ニ「船内ノ各部ヲ開キ  
検査ヲ受クヘシ」ト云フコトガアリマスカラ、コレガアレバ跡ニ斯ウ云フコト  
ハ要ルマイト云フコトモゴザイマシタケレドモ、コレハ此船ハ常ニ荷物ノミ  
ヲ積ミマスルノデゴザイマス、シテ人間ヲ此所ヘ積ムコトハ容易ニナイノデ  
アリマス、故ニサウ云フ病毒デモ潜メルヤウナコトハシナイ船ヲ検査官ガ一  
一其處マデ見ルハ甚ダ船長ニ取テ煩ハシイカラ此處ハ船長ノタメニ斯ヤウニ  
規定シタルノデアリサウデアリマス、ソレカラ第六條ニ參リマシテ此「等」ト云  
フ字ヲ刪タノデアリマス、其理由ハ「等」ト云フコトハドウ云フ譯デアリカト  
云フコトヲ政府委員ニ委員カラ御尋ニナリマシタ所ガ「等」ト云フハ船客乗  
組員其外ニ何ガアルカト云フ質問デアッタ所ガ「ボーイ」ヂヤトカサウ云フヤ  
ウナ者ガ居ル、ト斯ウ云フヤウナ説明デアリマシタガ左様ナ者ハ無論乗組人  
ト見テ差支ナイデアリマスニ依テ必要ハナイト認メテ委員會デハ取ツテ除ケ  
ルヤウニナリマシタ、ソレト起案者ニ於キマシテモ是ハ格別重キ意味ヲ持タ  
レデハナイト云フ證據ニハ第八條ニ至リマシテ矢張同シヤウナ場合ニ船客乗  
組員ハト云フ所ニハ「等」ハナイノデアリマスカラ是ハ無論取ツテ差支ナイト  
考ヘマス、委員會デハ左様ニ致シマシタ、ソレカラ第十三條十四條ヲ入レ替  
ヘマシタノハ別ニ格別ノ深イ意味ハナイノデアリマシテ他ノ法令デモ此法律  
ノ施行期日ヲ定ムルト云フヤウナコトハ大抵終ノ方ヘ以テ行テ居ル、且ツ此  
元ノ十四條ヲ附則ノ始ニ出シテ置イダ方ガ宜カラウト云フ位ノコトデ別段ニ  
深イ意味ハナイノデアリマス、ソレカラ末項ヘ參リマシテ「執行スルモノト  
ス」ト云フコトニ直シマシタノハ是ハ是マデノハ「適宜ノ處分ヲナスコトト  
得」トアリマスノハ少シ是ハ意味ヲ強クシテ重クシテサウシテ此法律ノ規定  
ニ準ジテヤラセル執行サセルト云フコトニ強クナルト云フヤウナ所デ修正ニナ  
リモ是ナラバ意味ガ此法案ヲ執行スルニ強クナルト云フヤウナ所デ修正ニナ  
リマシタ、ソレカラチヨット御參考ニ申上ゲテ置キマスガ此檢疫法ノ必要ナ  
ルコトハ申スマデモナイコトデアリマス、二十八年ノ虎刺刺患者ガ是ハ即チ  
其檢疫施行ノ時機ヲ過ツタガタメニ此病氣ガ本邦ヘ侵入シテ是ガ蔓延ヲ致シ  
死亡者ガ五十五萬有餘人其年ハ生ジタ、ソレカラ二十九年三十年ニハ矢張虎  
刺刺ト同様ノ恐ルベキ「ベスト」病ガ長崎横濱ノ兩所ニ現ニ患者ヲ船舶載シタ  
デアリマスケレドモ其時分ニ丁度臨時檢疫ヲ既ニ開始シタ所モアリ又將ニ開  
始セントスル所デアリマスモウ一ツ御參考ニ申シマスノハ十年間ノ日本ニ流行  
致シマシタ傳染病ニ罹リマシタ患者ノ數ガゴザイマスルデ是ハ十年間ニ即チ  
二十一年カラ三十年マデニ百四十三萬二千七百八十七人デゴザイマシテ其中

デ四十二萬七千零五十四人ト云フモノガ死亡致シマシタ趣デゴザイマス、實  
ニ此法案ハ斯ノ如キ國民衛生上重大ノ關係モアル法案デゴザイマスカラ宜シ  
ク御審議ノ上通過ヲ圖ラレンコトヲ希望致シマス  
○議長(公費近衛篤磨君) 時刻ニナリマシタカラ暫時休憩致シマス  
午前十一時五十九分休憩

午後一時五十五分開議  
○議長(公費近衛篤磨君) 是ヨリ報告ヲ致シマス  
(小原書記官朗讀)  
精神病者監護法案特別委員會ニ於テ委員長ニ伯爵正親町實正君副委員長ニ  
三宅秀君當選セラレタリ

○議長(公費近衛篤磨君) 今朝御委託ニナリマシタル特別委員ノ氏名ヲ御報  
道致シマス  
(太田書記官朗讀)  
北海道舊土人保護法案特別委員  
公費二條 基弘君 伯爵萬里小路通房君 男爵小澤 武雄君  
柴原 和君 男爵鈴木 大亮君 時任 爲基君  
湯地 定基君 南郷 茂光君 森山 茂君

○議長(公費近衛篤磨君) 是ヨリ午前二引續イテ會議ヲ開キマス、開港檢疫  
法案ニ附イテ別段御發議ガナクバ第二讀會ニ移スベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス  
○山中幸義君 此法案ノ第十四條ヲ見マスルト……  
○議長(公費近衛篤磨君) チヨット御待下サイ、政府委員ガマダ出席シテ居  
リマセヌ

○山中幸義君 特別委員會長ニ御尋シテモ宜シウゴザイマス  
○議長(公費近衛篤磨君) 併シ大シタ質問デナクテモ政府委員ガ居リマセヌ  
カラ……  
○山中幸義君 特別委員會長ニ御尋シテモ宜シウゴザイマス  
○議長(公費近衛篤磨君) ソレナレバ宜シウゴザイマス

○山中幸義君 特別委員會長ニ御尋シマス、此法案ノ第十四條ニ依ル  
ト内外國ノ軍艦ノ檢疫ニ於キマシテハ取除ケニナツテ居リマス、デ若シ此内  
外國ノ軍艦ニ於テ此法案ニ定ムル所ノ指定ニ從ハナイト云フコトガアリマシ  
タトキノ制裁ハ此法律ニハ一向見エテ居リマセヌガ、ドウ云フヤウナ御調デ  
アリマシタカ一應委員會ノ顛末ヲ伺ヒタウゴザイマス

○伯爵吉井幸藏君 御答致シマス、此檢疫ニ關シマシテ外國ノ軍艦ヲ検査ス  
ルコトハ他ノ商船ヲ致シマスルノトマルデ違ツテ居リマシテ、此處ニハ附則  
ニ掲ゲテ……軍艦ノコトニ附キマシテハ附則ニ掲ゲテゴザイマス、前ノ  
此十一條十二條ノ罰ニハアラナイノデゴザイマス、ソレハ本邦ノミデナク各國近  
年斯様ナコトニナツテ居リマシテ、今度此法案ヲ出サレマストキニ十分調  
査サレテ又海軍省ニモ協議ノ上デ定メマシタ、特別委員會ニ於キマシテモ亦

外國ノ書類等ヲ參照シテ所ガ是ヨリ外ニ致方ガナイ、若シ外國軍艦ノ艦長若クハ其乘組人ガ此規則ヲ犯シマシトキニハ詰リ政府ニ報告シテ國ト國トノ交渉ニナツテ其本國政府カラ艦長杯ハ罰セラレヨリ外ニ仕方ガナイノデアリマス

○山中幸義君 外國軍艦ニ關係致シマシ場合ハ唯今ノ理由デ分リマシタガ内國ノ軍艦ニ關係致シマシテ若シ右様ナコトガアツタトキハ制裁ガドウ云フコトニナリマスルカ、其邊ノ御審査モアリマシタラウカラ一應伺ヒマス

○伯爵吉井幸藏君 是ハ矢張今申上デマシタ外國軍艦ニ對スルモノト同ジク此法案デ罰スルコトハナイ、唯日本ノ軍艦ノ艦長ガ此法ヲ犯シマシタトキハ當局大臣ガ制裁ヲ加ヘル……海軍大臣ガ行政官處分ヲ致シマスル外ニ此法案ニ依ッテ罰スルコトハ出來ナイノデアリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 他ニ御發議ガナクバ第二讀會ニ移ルベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半数ト認メマス  
○周布公平君 此議事日程ヲ變更シテ直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

○小原重哉君 賛成

(賛成「ト呼フ者アリ」)

○議長(公爵近衛篤磨君) 直ニ第二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ガナクバ第二讀會ニ移リマス

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○議長(公爵近衛篤磨君) 第一條ヨリ第五條マデ問題ニ供シマス、朗讀ハ省略ヲ致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 第一條ヨリ第五條マデ御異議ガナケレバ原案可決ト認メマス

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

次ハ第六條  
○議長(公爵近衛篤磨君) 委員會ノ修正ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半数ト認メマス、次ハ第七條ヨリ第十二條マデ  
○議長(公爵近衛篤磨君) 第七條ヨリ第十二條マデ御異議ガナケレバ原案可決ト認メマス

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

次ハ第十三條第十四條第十五條即チ末條マデ問題ニ供シマス  
○議長(公爵近衛篤磨君) 第十三條第十四條ハ委員會ノ修正、第十五條ハ原案ノ通、之ニ御異議ガナケレバ其通ニ決シマス

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○周布公平君 議事日程ヲ變更サレテ直ニ第三讀會ヲ開イテ確定アラランコトヲ……

○小原重哉君 賛成

○三宅秀君 賛成

○議長(公爵近衛篤磨君) 直ニ第三讀會ヲ開イテ御異議ハアリマセヌカ  
(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ第三讀會ニ移リマス……御異議ガナケレバ原案可決ト認メマス

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

然ラバ本案可決致シマス  
○子爵谷干城君 此際ニ於キマシテ動議ヲ提出致シマスル、昨日下午付ニナリマシタ第三號豫算追加、第六號豫算追加ハ緊急事件ト云フコトデ請求ニナツテ居リマスガ、如何ニモ其通り見エマスルノデ、議事日程ヲ變更シテ此際ニ此兩案ヲ議セラレンコトヲ希望致シマス

(賛成「ト呼フ者數名アリ」)

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ谷子爵ノ發議ノ通ニ致シマス  
(異議ナシ「ト呼フ者數名アリ」)

○子爵谷干城君 委員會ノ結果ヲ報告致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス  
(子爵谷干城君演壇ニ登ル)

○子爵谷干城君 諸君、唯今議題ニナリマシタ議案ニ於キマシテハ御承知ノ通朝鮮仁川京城間ノ鐵道敷設ニ附イテノ金額百八十万圓ト云フノ請求デアリマスルガ、是ハ他國ニ關係シテ居リマスル事柄ニ附キマシテ多少込入リマシタ事情モアリマスルト存ジマシテ豫算委員會ニ於キマシテハワレハ周密ニ質問ヲ致シマシテゴザイマスガ、政府ノ説明ニ於キマシテハ甚ダ明瞭ニゴザンスシ今日ニ於テ如何ニモ必要缺クベカラザルモノト委員會ニ於キマシテハ全會一致デ決議ヲ致シマシタ譯デアリマスル、ワレデ實ハ此コトニ附キマシテハ委員會ニ於テハ秘密會ニ於テ事情ヲ委シク承ツタ次第デアリマスルガ是ハ御承知ノ通先達テ臺灣福州間ノ電信ノ如キヤウナ往キ掛リノ事情デアリマスルカラ、ドウゾ委員會ノ多數滿場一致デ可決致シマシタ所ヲ本會議ニ於キマシテハ御信用ヲ置カレテ直ニ御賛成アラランコトヲ希望致シマスル、一應願ヒマスルデス

○子爵曾我祐準君 唯今委員長ノ報告ニ依リマス、豫算委員會ニ於テハ本案ハ十分御調査ニナツテ滿場一致ヲ以テ可決シタノデ決シテ吾々ハ豫算委員ニ信用ヲ置カヌ譯デアリマセスガ、吾々豫算委員デナイ者モ一ト通其理由ヲ承リタイデゴザイマス、少シ手數デハゴザイマスガ已ムヲ得ズ秘密會デナクツテハナラヌト云フコトナラバ秘密會デモ開カレテ一應政府委員ノ此次第柄ヲ議場ニ於テ説明セラレンコトヲ希望致シマス、若シモ秘密會デナケレバ衆議院ノ速記録或ハ豫算委員會ノ速記録ヲ見テモ知リ得ルデアリマスガ、是ハ秘密會ナルガ故ニツレモ知リ得ルコトハ出來マセヌ、吾々ハマルデ如何ナル事柄デアアルモ臆慮トシテ知リ得ズニ終ルノデアリマス、ツレデ餘儀ナク豫算委員長並ニ豫算委員ニ十分ノ信用ヲ置イテ居リマスガ、サリナガカ今一應此所デ其行掛リヲ承リタイデゴザイマス  
○侯爵黑田長成君 本員モ曾我子爵ノ說ニ同感デアリマスガ、秘密會ノ要求ハ確ガ三十人ノ賛成ガナケレバ成立タヌト思ヒマス

○議長(公衛近衛篤磨君) 十八デス

○侯爵黒田長成君 私ハ曾我子爵ニ賛成シマス

○伯爵大原重朝君 賛成

○名村泰藏君 賛成

○伯爵勸修寺顯允君 賛成

○田中源太郎君 賛成

○周布公平君 賛成

○關義臣君 賛成

(其他)賛成々々ト呼フ數名アリ

○議長(公衛近衛篤磨君) 秘密會ノ要求ノ動議ガ成立チマシテゴザイマス、是ニ賛成ノ諸君ノ趣意ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公衛近衛篤磨君) 過半数ト認メマス、ソレデハ秘密會ニナリマス、傍聴人ハ退場ヲ命ジマス

午後二時十五分秘密會ニ移ル

午後三時三十分開議

○議長(公衛近衛篤磨君) 是ヨリ公開致シマス

(子爵谷干城君演壇ニ登ル)

○子爵谷干城君 諸君、此第六號明治三十一年度歳入歳出總豫算追加即チ此臨時部ニ於キマシテ内務省ノ所管ニ第四款營繕費三万七千二百圓、是ハ誠ニ多額ノ金デモアリマセヌガ、承ッテ見ルト如何ニモ急グコトノヤウニアリマス、其急グ事柄モ格別ドウモムツカシイ理由デモ何デモナイ即チ此説明書ニアリマス通リ横濱ヘ輸入シマス所ノ石油及亞爾爾保爾ノ類ノ物、此置場ガ狹少ニシテカラニ何分ダ輸入シテ來ル豫定ノ品ヲ納メルコトガ出來ナイノデアアル、ソレ故ニ一日モ早ク之ヲ建築スルノ必要ヨリシテ請求サレタモノト見エマス、如何ニモ是ハ雨曝シニスル譯デアリマスカラドウゾ諸君ニ於カレマシテモ速ニ御議決ニナルコトヲ希望致シマス

○議長(公衛近衛篤磨君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス

○議長(公衛近衛篤磨君) 別段御異議ガナクバ可決ト認メマス……然ラバ本案ハ可決ニナリマシタ、銀行條例中改正法律案政府提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

○伯爵正親町實正君 チョット同ヒマスガ次ノ第五デアリマスガ是モ極簡單ナ法案デゴザイマスカラ唯今説明ノ序ニ次ノ日程ヲ同時ニ報告シテ宜シウゴザイマス

○議長(公衛近衛篤磨君) サウ云フ慣例ハイグラモアリマス、宜シウゴザイマス

(伯爵正親町實正君演壇ニ登ル)

○伯爵正親町實正君 此案ニ附キマシテノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報道致シマスガ去ル十九日ニ開キマシテ質問其他審議ヲ遂ゲマシテゴザイマス、此案ハ説明書ニモゴザイマス如ク單純ナル理由デゴザイマシテ詰リ商法ガ改正

ニナリマシタ結果ニ外ナラス、ソレデソレハドウ云フ譯カト申シマスレバ現行銀行條例第九條第十條等ハ其法文ガ過料ニ附イテノコトガ商法第何條ノ例ニ依ッテ處分スト云フヤウナ風ニナッテ商法ガ引用シテゴザイマス、然ルニ商法ガ改正ニナリマシタ、メニ其條項ガ動キマシタ、詰リ此條項ニ依ッテ又商法等ノ修正等ガゴザイマシテ條項ガ變動シマスルト又再ビ本案モ改正ヲ加ヘナケレバナラヌト云フ不便ガ生ジテ參リマスカラ此トハ其煩ヲ避ケマシテ法文中ノ過料ノ金高モ凡テ記載ヲ致シテ此法律ノ獨立シテ運用ノ出來ルヤウニ改正ニナッテ譯デゴザイマス、ソレデ詰リソレデケノ必要カラシテ此改正ヲ企デラレタサウデアリマス、此過料ノ高ニ至リマシテモ現行ノ何トハ大分金高ハ上リマシタ、是ハドウ云フ譯カト尋ネマシタ所ハ商法ノ方デ上タカラ矢張上リマシタノデ全ク意味ニ於テ現行法ト少シモ變リマセヌ、唯條項ノ變動ト或ハ之ヲ獨立セシムルタメニ修正ニナッタノダサウデアリマス、ソレ故委員會ニ於キマシテハ何ノ異議モナク全會一致ヲ以テ可決致シマシタ

一行目ノ末ノ方ニ廣告上ノ詐偽ノ陳述ト云フコトガアリマス、其詐偽ノ字ガ言扁ニナッテ居ル、是ハドウ云フ譯カト云フコトガ普通此詐偽ノ字扁ニナッテ居ルガ是ハ言扁ニナッテ居ルノハドウ云フ譯カト云フコトガ委員中カラ質問ガアリマシテ政府委員ノ調ベラレタ所ガ全ク是ハ印刷ノ誤デ政府ノ原案ハ矢張イ扁ニ致シテアルサウデアリマス、是ハ全ク印刷ノ誤ダト申スコトデアリマスカラ、今朝投票函ノ中ヘ正誤ガ這入ッテ居リマス、チョット是モ序ニ附加ヘテ申上ゲテ置キマス、ソレカラ其次ノ日程ノ第五ニゴザイマス所ノ銀行ニ關スル法律ニ定メタル過料ニ關スル法律案、是デゴザイマスガ是モ極簡單ナ理由デアリマシテ總テ民法商法等ノ過料ニ附キマシテノ裁判所ノ管轄若クハ執行手續ニ附キマシテハ非訟事件手續法ノ中ニ這入ッテ居ルサウデゴザイマス、然ルニ此銀行ダケガ漏レテ他ニ何モ規定ガナイタメニアノ非訟事件手續ニ據ルコトガ出來ナイト云フ譯ダサウデゴザイマス、ソレデ矢張此銀行ニ關スル法律ニ定メタル過料ノ件ニ附イテモ此非訟事件手續法ノ條項ニ據ッテ行ウト云フコトニ唯致スダケコトダサウデゴザイマス、是モ極單純ナコトデアリマスルデ別ニ委員會ニ於キマシテハ何ニモ異論ハゴザイマセヌ、是レ亦全會一致ヲ以テ可決ニナリマシタ、此段御報告申シマス、就キマシテハ終リニ一言申シマスガ此兩案共今申ス通極簡單ナル案デモゴザイマスカラ何卒讀會ヲ省略シテ御決議アラソコトヲ希望致シマス

○子爵小笠原壽長君 讀會省略ニ賛成

○侯爵黒田長成君 チョット委員長ニ質問ヲ致シマスガ銀行條例中改正法律案ハ理由書ヲ見マスル商法修正ノ結果ニ依ッテ此改正ノ必要ガアルヤウニ見エマスガ、商法修正ト云フコトハマダ議院ニ於テ決シテ居ラヌヤウニ思ヒマス、是ハドウ云フ都合デアリマス

○伯爵正親町實正君 御答致シマス、イエ、此前提出シタ商法ノ修正デ……

○侯爵黒田長成君 サウスルト今度ノ修正商法……

○伯爵正親町實正君 アレニハ關係シマセヌ

○侯爵黒田長成君 關係ナイ……然ラバ讀會省略ニ賛成

○小原重哉君 賛成  
○男爵玉松眞幸君 賛成  
○男爵中川興長君 賛成  
○伯爵大原重朝君 賛成  
○男爵辻健介君 賛成  
○武井守正君 賛成  
○渡邊洪基君 賛成  
〔其他「賛成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 讀會省略ノ動議ハ成立チマシタ、正親町伯爵ニチヨット御尋ネシマスガ、是ハ兩案共讀會省略ノ動議デスカ  
○伯爵正親町實正君 左様デアリマス、ソレデ次ノ案ハ次ニ移リマシタトキ更ニ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 更ニ御發議下サイ  
○伯爵正親町實正君 私人發言ハ兩案兼ネタ積デアリマス  
○議長(公爵近衛篤磨君) 次ノハマダ問題ニナツテ居リマセヌ、是ハ報告ダケガ濟シタノデアリマス、カ其場合ニ……  
○伯爵正親町實正君 宜シウゴザイマス  
○議長(公爵近衛篤磨君) 讀會省略ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數  
○議長(公爵近衛篤磨君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略、次ニ本案ヲ可決ト認メテ御異議ハゴザイマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ可決ニナリマシタ、銀行ニ關スル法律ニ定メタル過料ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會ノ續  
○伯爵正親町實正君 此報告ハ先刻申述ベマシタ通デゴザイマス、是レ亦ドウカ讀會省略ヲ致シテ……

○子爵小笠原壽長君 賛成  
○伯爵大原重朝君 賛成  
○男爵中川興長君 賛成  
○男爵玉松眞幸君 賛成  
○伯爵勸修寺顯允君 賛成  
○渡邊洪基君 賛成  
○武井守正君 賛成  
○柴原和君 賛成  
○子爵林友幸君 賛成  
○小原重哉君 賛成  
○澤簡德君 賛成

○議長(公爵近衛篤磨君) 讀會省略ハ成リ立チマシタ、是ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略ニナリマシタ、別ニ御發議ガナクバ本案可決ト認メテ……

〔異議ナシト呼フ者多シ〕  
○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ本案モ可決ニナリマシタ  
○伯爵正親町實正君 議長  
○議長(公爵近衛篤磨君) 正親町伯爵ハ何デス  
○伯爵正親町實正君 是ヨリ豫算第一科ノ分科會ヲ開キタイト考ヘマシガ定足數ニ御差支ガゴザイマセズハ是カラ退場致シマス  
○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス、所得稅法改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔渡邊洪基君演壇ニ登ル〕  
○渡邊洪基君 本案ハ隨分錯雜ナ案デアリマシテ即チ本月十二日ヨリ審査ニ掛リマシテ一昨十九日ヲ以テ審査ヲ結了シマシタ、其間會ヲ數回重ネマシテ此報告ニ至リマシタノデアリマス、此結果ノ重ナル點ハ即チ此衆議院デ修正ニナリマシタノ第二種ノ「此ノ法律施行地ニ於テ支拂ヲ爲ス公債社債ノ利子千分ノ二十」ト云フノ元ノ衆議院ヨリ送付ニナリマシタ政府ノ原案ニ復活致シマシタ、其他ハ修正ハ其結果トシテ生ズル分ガ多イノデアリマス、此復活シマシタ次第ハ即チ第一種ノ法人ノ所得ト申シマスルモノハ甚ダ分リ易イノデアリマス、一個ノ所得ノ中ヘ組込シタ所ガ明瞭ナモノデ……比較的極明瞭ナモノデアアル、第二種ノハモウ殆ド隱蔽シテモ調査ノ仕ヤウノナイモノデアリマス、然ルニ其第一種ノコトヲ茲ニ明ニシテ……

〔船越衛君「モ少シ大聲デ……」ト述ブ〕  
第二種ノ方ヲ除クト云フコトハ甚ダ法理上權衡ヲ得ナイ、ソレハ活カスノナラバ兩様トモ活カサナケレバナラズ、若シ削除スルナラ兩様トモ削除致サナケレバナラズ、然ルニ一方ヲ削除致サナイハ即チ此第一種第二種ト云フモノヲ一個ノ人カラデナク直ニ之ヲ取ルト云フコトガ即チ徵稅ノ便宜、調査ノ簡易ナルタメニ即チ會計上ノ目的ヲ達スルニハ此二種トモ直接ニ取ル方ガ宜イ、即チ是ガ所得稅法ノ改正ニナツタ眼目デアアル、其眼目タル所ニ同意致シタ譯デアリマス、ソレカラ其次ノ第四條ノ第一項ノ所ニ「前年度繰越金及保險責任準備金」ト云フ字ヲ更ニ加ヘマシタ、其字ヲ加ヘマシタノハ各事業年度ノ益金ヨリ同年度ノ損金ヲ控除シテ分ル譯デアリマス、故ニ前年度繰越金ト云フノ頗ル混雜ノ思想ヲ有ツテ居ッタノデアリマス、又此保險責任準備金ト云フノ入レテ更ニ控除スルモノヲ明ニシタノデアリマス、又此保險責任準備金ト云フモノハソレ自ラガ收益デハナイ、預リ物ト同ジモノデアッテ決シテ利益デナイ

〔大聲ニ願ヒマス、コチラデハ一向聽エマセヌト呼フ者アリ〕  
エ、

〔御大聲ニ願ヒマスト呼フ者アリ〕  
私ハ甚ダ聲ガ小サクテ困ルノデアリマスガ成ルタケ大キクシマス……ソレカラ此第二號ハ即チ第三條ノ結果デアリマシテ別ニ説明ヲ要シマセヌ、ソレカラ第三號ニ於キマシテ「年額ニ依ル但シ」ノ下ニ「此ノ法律施行地ニ於テ支拂ヲ受ケサル」ト云フコトヲ入レマシタノモ是モ唯明ニシタニ過ギマセヌ、詰リ重複ニ稅ハ取ラヌト云フコトデ此ニ明ニ致シタノデ、條文ノ儘デハ分ラ

ヌカラ分ルダケニシマシタ、ソレカラ「貸金預金ノ利子」ト云フモノガアリマス、是ハ「預金」ヲ入レマシタ、是ハ現行法ニアリマスカラ入レマシタ、貸金ノ中ニ預金モ籠ルト言ヘバ言ヘマスガ是モ明瞭ニ現行法ノ通ニ致シタノデアリマス、其下ニ「此ノ法律ニ依リ所得稅ヲ課セラレタル法人ヨリ受ケタル配當金、俸給、給料、手當金」是モ亦矢張外國又ハ施行地デナイ所ト云フノニ依リテアリマス、ソレカラ「前項云々」ト衆議院デ修正シマシタノニ更ニ加ヘマシタノハ「此ノ法律施行地ニ於テ支拂ヲ受ケタル公債社債ノ利子アルトキハ之ヲ控除ス」是ハ矢張二重ニ稅ヲ課セラレマシテ即チ一ノ法人ニシテ他ノ法人ノ株ヲ持ッテ居ッテ利益ヲ算入シテカケルト二重ニナッテ甚ダ不公平デアルカラ其コトノタメニ衆議院デ修正シタノハ至極尤テ修正デアルガ此第二種ヲ入レマシタニ附イテ落チテ居リマスカラソレデケテ入レマシタノデアリマス、ソレカラ第十條ニ「納稅義務者」ト云フ字ガ這入ッテ居リマス、是ハ衆議院デ修正致シマシタノ一箇條ニ這入ッテ居ッテ此所ニ這入ッテ居ラヌカラ補ウタニ過ギマセヌ、ソレカラ第十四條ニ「但シ左ニ記載スル者ハ此ノ限ニ在ラス」トアッテ即チ無能力者又身代限ノ處分ヲ受ケ云々ト云フ條項ガ唯「調査委員トナルコトヲ得ス」ト云フコトデアルト云フト調査委員ノ選舉人ト爲リ又選舉人ヲ選舉スルコトニモナリ權衡ヲ得ヌト云フコトデアリマス、是ハ衆議院デ修正致シマシタノ多數「此ノ限ニ在ラス」ト云フコトニシテ總テ無能力者等ニハ選舉人ヲ選舉スルコトモ又調査委員ニナルコトモ出來ヌコトニシマシタ、是ハ現行ノ法デ此通ニナッテ居リマスカラ斯ウシマシタ、ソレカラ此第二十三條「調査委員及補關選舉」トアルノヲ「調査委員及補關員」トシタノハ全ク字句ノ穩ナルヲ欲シタノデ殆ド訂正ト申シテモ宜イノデアリマス、ソレカラ第三十四條ノ原案ハ「調査委員會及稅務署長」トアリマシテ政府ノ原案ハ「稅務署長」ダケニナッテ居リマシタ、所デ衆議院デ調査委員會ト云フ字ヲ入レタノデスガ、是ハ調査委員會デ事實ヲ質問スルヨリハ稅務署長カラ通知スルノデアルカラソレニ依ッテ質問シタ方ガ宜イ、詰リ遠方カラ呼出ストカ大勢ノ前ヘ引出シテ所謂名譽稅トモ云フヤウナモノヲ調査スルハ不適當デアル、故ニ稅務署長ダケニシテ調査委員會ノ方ハ省イタガ宜カラウト云フ理由デ斯ウシマシタ、ソレカラ第四十二條ノ「第二種ノ所得ニ付テハ其ノ金額支拂」是ハ第二種ヲ復活シタメニ政府案ノモノヲ復活シテ出シタニ過ギナイ、ソレカラ第四十四條ハ二項ニナルベキモノヲ一項ニシタメ明瞭ヲ缺クニ依リ項ヲ分ケテ明瞭ニシタニ過ギマセヌ、先ヅ簡短ニ說明致シマスレバ是レダケノコトデアリマス、尙ホ御質問ガアレバ調査委員ナリ又政府委員ノ說明モアリマセウ

○松岡康毅君 私ハ委員長デモ政府委員デモ宜シイ、ドナタデモ敢テ擇ビハ致シマセヌガ御答ヲ願ヒタイ、此第四條ノ一項ノ三號ニ「第三種ノ所得ハ總收金額ヨリ必要ノ經費ヲ控除シ」トゴザイマス、サウシテ現行ノ法ニ據リマスルト此控除スベキ種類ヲ段々舉ゲテゴザイマス、「國稅、地方稅、區町村費、備荒儲蓄金」ト種々ノモノガ出テ居リマス、現行法ハ除クベキ種類ヲ段々舉ゲテアルノニ本案ハ「必要ノ經費」ト云フ文字ニ換ヘマシタノハドウ云フ意味カラ出マシタノデゴザイマス、其主旨ヲ一應承リタウゴザイマス

○渡邊洪基君 ソレハ委員會デモ確メテモアリマスガ、併シ却ッテ政府委員

ノ答辯ノ方ガ明瞭デアラウト思ヒマス

○田中源太郎君 議長我モ委員長ニ……

○議長(公費近衛篤磨君) 今政府委員ガ答辯ニナリマスカラ之ヲ先キニ

○政府委員(若槻禮次郎君) 四條ノ一項ノ三號ニアリマス必要ノ費用ト變ヘマシタノハソレハ格別ノ意味ガアルノデモゴザイマセヌケレドモ現行法ニ列舉致シマシタ事柄ニハ大分疑ガアリマスルノデゴザイマスカラ寧ロ法律デハ收入金ヨリ生ズル必要ノ經費ヲ引クト云フコトヲ書イテアリマシテ、施行ノ勅令ニ於テソレヲ明ニ書イタ方ガ宜カラウト云フノデ施行規則デ定メマサル積リデ、定メマスルトキニハ大體現行法位ニハ定メテ置ク考デゴザイマスガ今マデ疑ノアリマシタ所ヲ解ケルヤウニ書キタイト斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○田中源太郎君 私ハ委員長若クハ其他ノ委員諸君ノ中デモ宜シウゴザイマス、御尋致シタイノハ此一種ノ公債社債ノ利子ノ此原案ニ復活ニナリマシタコトニ就イテ御尋致シマス、此第二種ノ公債社債ノ利子ヲ斯ノ如ク別ニ支拂ヒシナニ徵收シマスレバ脫稅ノ憂ハ成ル程ナイヤウデゴザイマス、去リナガラ此稅ノ性質ニ於キマシテ、元來ガ所得稅ト云フ稅ノ性質ノモノデアリマス、デ公債證書ノ利子社債ノ利子ト云フモノハ無記名ノモノニシマスルト未ダ誰ノ手ニ歸スルヤラ少シモ分リマセヌ、何ノ所得トモ言ヘナイ、デ所得稅ト云フモノニ對シテ何ノ所得トモ言ヘナイ、結果ハ何レ誰カノ所得ニナルカモ知レマセヌ、併ナガラ未ダ所得トモ何トモ名ノ附カナイ利子ニ對シテ渡シシナニ對シテ取ッテ置クト云フノハ本稅案ノ性質ニ於テ如何カト思ヒマス、而シテ又事實ニ於キマシテ此公債社債ノ利子ヲ支拂ヒシナニ引除クトキハ恰モ五朱ノ利ト唱ヘテ居ルモノガ直接ニ利ヲ渡シシナニ引去ルトキハ四朱八分ノ公債ト云フモノニナッテシマフノデアリマス、社債ニ於キマシテハ今ヨリ後商法ガ修正發布ニナリマシタ以上ハ無記名社債モ發行ガ出來ル、獨リ此社債モ公債モ內國人ガ持ッテ居ルダケデハゴザイマセヌ、外國人モ澤山是カラ持ッコトニナル、然カスルト全ク此利率ヲ極メタモノガ利率ガ下ヲ同ヤウナ勘定ノモノニナッテシマヒマス、實際ニ於テモ誠ニ此二種ノ復活スルノハ不利益ナコトニナリハシナイカト斯ウ私杯ハ思フノデアリマス、其邊ハドウ云フ御調デアリマス

○渡邊洪基君 此處デ說明致シマスガ、甚ダ私ハ聲ガ低ウゴザイマスカラ御聽取惡ウゴザイマセウガ、此誰ノ所得ニナルカ知レヌ所得トハ言ヘナイト云フ御說デゴザイマシタガ決シテ所得トハ言ヘナイト云フコトハナイ、是ハ働イタ其內カラ雜用ヲ引去ルベキモノデアナイ、全ク是レ位純然タル所得ハナイノデアリマス、誰カノ手ニ歸スルノデアリマス、是ハ唯渡ス先キニ取ルカ前ニ取ルカト云フコトニ過ギヌノデアリマス、所得ト云フコトハ極リ切ッテ居リマス、ソレカラ外國人ト云フコトモアリマシタガ故ニ法律施行地ニ於テ支拂ヲ受ケタル公債社債ノ利子トアリマス、即チ支拂地ガ日本デアレバ日本ニ居ル外國人、即チ日本ノ法律ノ下ニ支配サレテ居ル所ノ外國人カラ取ル、是ハ他ノ此法律施行地ニアラザル所デアリケナイ、故ニ第四條ノ第三號ノ所ニ之ヲ明ニシテアルノデゴザイマス、ソレカラ又社債公債ヲ始メ利率ヲ變更スルニ當ルト云フコトデゴザイマスガ、成ル程公債ハ政府カラ出テアル

カラ利率ハ稍々サウ云フ工合ニ當リマスルカ、他ノ社債ダノ他ノ所得ダノト云フモノハ同ジコトデハナイ、又公債ト雖モ矢張公債證書ヲ發行シタ以上ハ即チ一個人ノ持ツベキモノデ、一個人ノ債務ト變リハナイ、ツレカラシテ所得ヲ課スルノデアリマス、今日ドウモ矢張個人トナツテ居ルノ同ジコトデアリマス、又ツレガタメニ或ハ其影響ヲ公債ノ價ニ及スト云フ論モ專ラアル趣デゴザイマスガ、是レ亦法人モ同ジデ法人ノ所得ニ於テモ尙ホ更影響ヲ及スコトガヒドカラウト思ヒマス、是ハ稅ガ掛レバ全體ニ其稅ダケノモノハ全體ニ及スノデアッテ獨リ是ハカリデハアリマセヌ、故ニ其利子ノ第二ト云フモノヲ復活シテ毫モ不公平ハナイト思ヒマス

○田中源太郎君 私ノ申上ゲタノト少シ趣意ガ違ヒマスルノデ元來所得稅ハ重ニ直稅ノ性質ノモノデアリマスルデ、第二種ノ方ハ法人ノ所得ト違ヒマシテ法人ノ所得ハ個人ノ方ノモノデ是ニ課シマシテモ同ジコトデ又此上ニ個人ニ渡ツテ二重ニ掛ケテモ稅ノ性質トシテハ宜イモノデアラウト思ヒマス、併シ第二種ノ公債社債ノ利子ヲ直ニ渡シシテハ引去ツテシマヒマスルト云フト、恰モ所得稅デナクシテ公債社債其モノニ課スル性質ニナツテ來ハセヌカト云フ案ジガアリマス、ツレデ末ニ至ツテハ即チ渡シ者ガ之ヲ徵收スルト云フコトデ拔ケテハゴザイマスルガ渡シ人ハ政府ガ渡シ人デアレバ政府、會社ガ渡シ人デアレバ會社、其者ガ即チ徵收役人ノ如クニナツテ居ツテ拔ケテハアリマスケレドモ、性質ガドウモ物ニ課スルヤウナ性質ニナリハシナイカト云フ嫌ガアリマス、加之ナラズ此所得稅ハモト三百圓、此法案ニ依リマスレバ其以下ノモノハ取ラナイ、其結果此公債ノ利子ガ所得ニナルカラト云フテ其利子ノ内ニ三百圓以下ノモノガ澤山出來ダラウト思フ、ツレモ取ルコト云フコトニナツテ來ル、斯ウ申セバ法人ノ株券モサウナリハセヌカト云フコトノ論ガ出マセウケレドモ其株券ノ配當即チ法人ト云フモノニ對スル所得ニ對シテ課スルノハ、公債社債ノ利子ニ對シテ取ルハ餘程違フヤウニ思ヒマスルデゴザイマス、モウ此上申シマスル議論ニナリマス、大體今ノ御答ニ附イテ公債ノ價ガ下ガルトカ或ハ社債ノ價ガ下ルトカサウ云フ方ノコトヲ申シタノデハナイ、公債ニシマシテモ社債ニシマシテモ之ヲ此法律ヲ施行シナイ地ニ持ツテ居ル人即チ外國人ガ持ツテ居リマスルト若シモ此第二種ヲ除キマスルト課セラレヌノデアリマス、第二種ニナルト課セラレヌノデアリマス、即チ外國人ガ所有スルトシマスルト五分ノ利付ト云フモノハ四朱八分ノ利ノ公債ト云フ感シガ起ル、社債モ此ノ如キ感シガ起ル却ツテ不利益デハナイカト云フ考デゴザイマス、公債社債ニ對シテ御尋申シタノデハナイ

○渡邊洪基君 ドウモ少シ議論ニ涉ルヤウニ思ヒマスケレドモ即チ日本ニ居ル外國人即チ日本デ仕拂ヲ受ケル外國人ニバカリ掛ルノデアッテ向フノ外國人ガ向フカラ受ケタノハ掛ラヌノデアリマス、ツレカラ又今ノ云々ノコトモアリマスルガ五朱ノガ四朱八厘ニ當ルト云フ御尋ハ間違テ四朱九厘八毛ニ當リマス、是ハモウ誠ニ一ツニシレバ僅カナモノデアリマス、集メレバ大キナモノデアリマスケレドモ一ツニシレバ僅カナモノデアリマス

○下條正雄君 委員長ナリ、政府委員ナリチヨット質問ヲ致シマス、此所得稅ノ改正法律案第四條ノ「第三種ノ所得ハ總收入金額ヨリ必要ノ經費ヲ控除シタル豫算年額ニ依ル」ト斯ウゴザイマス此年額ハ何カラ標準ヲ立テ、極メ

ラレタカ、斯ウ云フコトハチヨット見エテ居リマセヌ、然ルニ現行法ノ第二條第三項ノ前三箇年所得平均高ヲ以テ云々ト斯ウ云フコトガアリマス是ハ必ズ標準ガアルノデ或ハ前三箇年ノ所得高ヲ平均シテ一箇年ノ所得高ヲ組マレタカ或ハ三箇年ニ及バヌト云フモノナラバ前年度ノ比較ニ依ツテ豫算ヲ極メラレルトカ云フ標準ガ必要ナコト、考ヘマス、然ルニ此度ノ修正案ニハ除ケテ居リマスガ餘リ入用ガナイ御見込デアリマスカ

○渡邊洪基君 唯今ノハ政府委員カラ……

(政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル)  
○政府委員(若槻禮次郎君) 今マデノ法律デハ三箇年平均デ割出シ算出スルト云ヒマスルノハ直ニ三箇年ノ平均ヲ用ヒルノデアリマセヌ、三箇年ノ平均デ算出スルト斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ所得稅ハ成ルベク今年ノ所得ノ丁度百分ノ幾ラナリ或ハ千分ノ幾ラナリト云フモノヲ掛ケタノデ三箇年平均致シマスト今年ハツレダケ所得ガナイモノモアルカモ知レマセヌ或ハ今年ハツレヨリ餘計ニナルカモ知レマセヌ、却ツテ事實ニ適セヌト考ヘマスカラ矢張其年ノ所得ヲ見ル方ガ宜シ、其年ノ所得ハ四月ニ至ツテ此人ハ斯ウ云フ營業ヲシテ是ダケノ資本ヲ使ツテ居ル以上ハ大抵是ノ位ノ所得ハアルモノダト云フ見込ヲ立テルコトニナリマスレバ立ツテ參リマスノデゴザイマスカラ寧ろ三箇年平均ト申シマスヨリモ其年ノ所得見込ヲ立テタ方ガ宜シ、斯ウ云フ積デ今度ノ改正案ニハ豫算ノ年額トシマシテ三箇年平均ヲ用ヒナイコトニ致シマシタ

○田中源太郎君 此三十四條ノ調查委員會ト云フコトガ衆議院カラ修正ニナツテ這入リマシタガ是ヲ除クノガ宜イト云フ御修正ニナツテ居リマスガ現在各府縣デ實際ヤツテ居リマス、是ハ委員會デアル方カ餘程圓滑ニ纏マルヤウニ開イテ居リマス、併ナガラ委員會ト云フモノハ直ニ増稅者ニナルト云フノハ穩ナラヌヤウデアリマスケレドモ實際ハ斯ウヤツタ方ガ穩ニ纏マル、何カ法律上若クバ處分上ニツレヲ置イテハ不都合ナト云フヤウナ御調ニデモナリマシタカ

○渡邊洪基君 調查委員會ヲ削リマシタノハ別ニ大變ニ深イ理由ガアルノデアリマセヌガ調查委員會ト云フモノハ自ラ會ガ人ヲ呼出ストカ何トカ云フコトハ隨分本員等ノ開込ム所ニ據ルト所ニ依ルト誠ニ困ル所ガアルサウデアリマス、却ツテ圓滑ニ行カヌ所ガアルサウデアリマス故ニ矢張收稅署長又ハ代理官ニ頼ンデサウシテ行ク方ガ當然デアル、其方ガ寧ろ圓滑ニ行カウト云フ見込デ斯ウナリマシタ

○議長(公倉近衛篤磨君) 別ニ御發議モナイヤウデアリマスルカラ第二讀會ニ移ルヤ否ヤノ決ヲ採リマス、本案第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公倉近衛篤磨君) 過半數ト認メマス、關稅定率法及同法附屬輸入稅表中改正法律案、政府提出、衆議院送付第二讀會……

○周布公平君 本案ノ逐條朗讀ノ初ニ當リマシテ一ツ希望ヲ述ベマシテ滿場諸君ノ御贊成ヲ願ヒタイト思ヒマス、此本案ニ附キマシテハ本員ハ別ニ異議

ハ持テ居リマセヌガ本案ニ掲ゲテアリマス外ノコトデ甚ダ憂慮致シマスコトヲ此項開込マシタ、ツレハ大阪神戸、地方ヨリ近年支那南洋諸島及米國ニ向テ輸出致シマス所ノ燐寸即チ摺附木デアリマス、此輸出品ノ製造業者ガ大ニ近年ハ困難ヲ感シテ燐寸ノ製造ヲ始メマシテ尙ホ獨逸瑞典兩國ヨリ其他支那ノ各地ニ於キマシテ燐寸ノ製造ヲ始メマシテ尙ホ獨逸瑞典兩國ヨリモ支那及南洋諸島ニ輸出致シマスウニ相成ツタデアリマス、而シテ其外國ノ製造モ追々進歩ヲ致シテ燐寸ノ製造ニ聞キ及ビマス、ツレガタメ本國ノ燐寸製造業者ハ非常ニ困難ヲ感シテ居リマス際ニ當リマシテ、今年ノ一月一日ヨリ輸入税ニ於キマシテ此燐寸ノ原料ノ輸入税ガ倍或ハ三倍ニ相成リマシタデアリマス

○議長(公尊近衛篤磨君) チョット周布君ニ御注意致シマスガ、此案ニ就イテノ御意見デアリマセヌカ……

○周布公平君 意見デアゴザイマセヌ、簡短ニ申シマス、ツレデ修正ノ意見ハ即チ燐寸原料品ノ輸入税ノ有税ノ部ニアリマスノヲ無税ノ部ニ移シタイト云フコトノ腹案ヲ持ツテ居リマスケレドモ、尙ホ其取調ニ附キマシテ不十分ノ所モアリマス故ニ、今日ノ議事ヲ兩三日間延期ヲ請ヒマスデアリマス、尙ホ一言附加ヘテ置キマスガ、昨年ノ十一月ニ神戸商業會議所ヨリ燐寸ノ原料ノ輸入税免除ノコトニ附キマシテ本院へ請願書ヲ差出シマシタ、其請願書モ聞ク所ニ依レバ既ニ請願委員會ニ於テ其趣旨ハ採ルベキモノト認メラレテ議長ノ御手許マデ報告ニナツテ居ルヤウデアゴザイマス、是等モ併テ調査致シマシテサウシテ此第二讀會ニ修正ノ考ヲ持出シタイト思ヒマスカラ願ハクバ兩三日ノ猶豫ヲ希望致シマス

○久保田讓君 贊成  
○男爵千家尊福君 贊成  
○水野遵君 贊成  
○小原重哉君 贊成  
○議長(公尊近衛篤磨君) 本案ヲ延期スル周布君ノ勸議デアリマス、是ニ御異議ガナクバ……

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)  
○議長(公尊近衛篤磨君) 然ラバ延期致シマス、高等學校及帝國大學增設ニ關スル建議案子爵三島彌太郎君外一名發議、會議

(小原書記官朗讀)  
高等學校及帝國大學增設ニ關スル建議案  
右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也  
明治三十二年一月十九日

發議者

子爵三島彌太郎

久保田讓

贊成者

侯爵黑田長成

外七十三名

(左ノ建議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

高等學校及帝國大學增設ニ關スル建議案

近年教育之進歩ニ伴ヒ中學校ヲ卒業シ進テ高等學校ニ入り更ニ進テ大學ニ入ラントスル者漸ク多キヲ加フルモ高等學校ノ設ケ不足ナルカ爲メニ有爲之青年ヲシテ志望ヲ空シクセシムルコト尠ナカラス現ニ本學年ノ始メニ於テハ各高等學校ニ入學ヲ志願セル者三千百九十八人中入學ヲ許サレタル者千五百九十八人入學ヲ許サレタル者千六百八十二人至レリ若シ兩三年ノ後ニ至ラハ數年來中學校增設ノ結果其卒業生著シク増加シ高等學校入學志望者益多キヲ加ヘ隨テ大學ニ進入セント欲スル者亦倍加スルニ至ルヘシ然ルニ高等學校ノ不足已ニ現況ノ如シ大學亦忽チ不足ヲ告グルニ至ルハ明ナリ政府若シ此ノ如キ狀態ニ委シテ願ミサルカ如キコトアラハ學政施設ノ不備ナルカ爲メニ青年進學ノ障礙ヲナシ國家ノ進運ヲ遲滞セシムルノ虞ナシトセシ是レ國家ノ一日モ緩慢ニ附シ去ルヘキコトニアラサルヘシ故ニ政府ハ高等學校及帝國大學增設ノ計畫ヲ定メ其急要ニ屬スル者ハ可成速ニ其豫算ヲ帝國議會ニ提出セラレンコトヲ希望ス

○久保田讓君 是ハ本員モ發議者ノ一人デアリマスガ、三島子爵ガ說明致サル、答デアゴザイマス、今見エマセヌカラ、チョット御喚ヲ願ヒマス

(子爵三島彌太郎君演壇ニ登ル)

○子爵三島彌太郎君 此建議ヲ提出致シマシタ趣意ハ理由書ニモ認テゴザイマスガ、尙ホ簡單ニ一言申添ヘテ置キタイト思ヒマス、明治十九年ニ中學校令ガ出マシタ當時ニ於キマシテハ、全國ニ於キマス尋常中學校ノ數ハ官立公立及私立ヲ合シマシテ其數ガ五十四デゴザイマシテ、生徒ノ數ハ凡ソ一萬人餘デアゴザイマシタ、所ガ其後年々ニ増シテ參リマシテ、殊ニ最近數年ノ間ト云フモノハ其増進ノ度ハ實ニ著シイモノデアゴザイマス、即チ明治二十七年ノ末ニ於キマシテハ學校ノ數ガ八十二デゴザイマシタ、所ガ翌年ニハツレガ増シテ九十七校ト爲リ、又其翌年ハ増シテ百十五校ト爲リ、遂ニ三十年ノ末ニハ百五十七校ト云フ數ニナリマシタ、又生徒ノ數ニ於キマシテハ明治二十七年ノ末ニハ二萬二千餘人デアゴザイマシタ、所ガ其翌年ハ凡ソ五割程増シマシテ三萬餘人トナリ、又其翌年ニハ一萬人増シテ四萬人ト爲リ、明治三十年ノ末ニハ五萬二千六百餘人ト云フ大數ニ達シマシタ、即チ毎年凡ソ三割バカリノ増加デアリマス、之ヲ十年前即チ明治二十一年ノ總數ニ較ベテ見マスルト、學校ノ數ニ於キマシテハ凡ソ三倍餘ニナツテ居リマシタ、生徒ノ數ニ於キマシテハ凡ソ五倍ト云フ大數ニナツテ參リマシタ、昨年ノ統計ハ未ダシツカリトハ分リマセヌガ、最近數年ノ例ヲ以テ見マスレバ、少クモ六萬ヲ下ラナイデアアラウト思ヒマス、是等ノ學校及生徒ノ増シテ參リマシタノハ決シテ是ハ一時ノ現象デハナイデアリマス、一方ニ於テ年々非常ニ増加致シマス所ノ小學校生徒ト云フモノノ數ニ伴ツテ増加シテ參リマシタデアリマス、既ニ今日デハ小學校卒業生ノ三分ノ一程ト云フモノハ中學校ニ這入ルコトガ出來ナイデアリマス、此位一方ニハ中學校ノ數及其生徒ノ數ガ増シテ參リマスノニ其中學校ノ卒業生ノ大部分ハ進ンデ修業ヲ致シマセウト云フ高等學校ノ數ハドウデアアラウカト云フ二十年ノ前カラ更ニ増シテ

居リマセヌ、當ニ増シテ居ナイバカリデハナク、明治二十七年六月ニ高等學  
校令ガ出マシタ結果ト致シテ鹿兒島高等中學校ノ如キハ廢止ニナリマシタ、  
即チ却テ一校減シテ居ルデアリマス、ソレナラバ此高等學校ニ收容スル生  
徒ノ數ハドウデアアルカト云フニ是ハ十年前カラ大差ハゴザイマセヌ、殊ニ明  
治二十三年ノ末カラ三十年ノ末マデハ殆ト増減ガナイト云ツテモ宜シカラウ  
ト思ヒマス、本學年ノ初ニ於キマシテ收容致シマシタ生徒ハ多少ノ増加ハゴ  
ザイマシタ、併シ到底一方ニ於テ洩ケテ増シテ參リマシタル中學校ノ卒業  
生ヲ悉ク收容スルコトハ出來マセヌ、ソレ故ニ高等學校ニ入學ヲ志願致シマ  
シテ其志ヲ得ナイ者ガ年々増シテ參リマシタ、昨年九月即チ本學年ノ初ニ入  
試驗ノ折ニハ全國ヲ通ジテ入校ヲ志願シタ者ガ三千百九十人アリマシタ、其  
中入校シ得タ者ガ千五百九十人デアリマス、其殘リノ千六百九人即チ過半數ト  
云フモノハ這入ルコトガ出來ナカッタデアリマス、是等ノ這入レナカッタ生  
徒ノ數ハ一昨年マデノヤウナ試驗法ヲ行ヒマシタナラバ一層大キカッタノデ  
ゴザイマセヌ、併シ昨年ハ高等學校ノ多クト云フモノハ規則ヲ變ヘテ中學  
ノ卒業生デナイ者ハ縱令學力ハ幾ラアツテモ之ヲ採ラヌト云フコトニ致シマ  
シタノデス、ソレデスラモ斯ノ如キ多數ノ志願者ガアツテ、又前申上ゲマシ  
タヤウニ千六百九人ト云フ多數ハ這入ルコトガ出來ナカッタデアリマス、  
今此最近兩三年間ノ入學志願者ト入學者トノ比例ヲ申上ゲマシレバ明治二十  
八年ニハ入學志願者百八人對シテ入學者ノ數ガ六十六人餘デゴザイマシタ、  
所ガ翌年二十九年ニハソレガ減シテ僅ニ百八人ニ附イテ五十六人トナツタノデ  
アリマス、ソレガ又翌年即チ三十年ニハ減シマシテ僅ニ四十五人餘ト云フ數  
ニナツテシマヒマシタ、今高等學校ヘ入學ヲ志願致シマシタル生徒ノ多クト云  
フモノハ明治二十五年ノ頃即チ中學校ノ生徒ガ今日ノ僅ニ三分ノ一ニ過ギ  
ナイ時分ニ入校シタモノデゴザイマス、ソレ故ニ今カラ數年ヲ經マシタ、今  
日中學校ニ在校シテ居リマシタル生徒ガ卒業致シマシタルニナリマシタナラバ  
實ニ志願者ノ數ト云フモノハ非常ナモノデアアツテ、從ツテ失望スル所ノ生徒  
ノ數ト云フモノハ今日ニ幾倍スルモノト覺悟シナケレバナリマシマス、是等  
ノ失望ヲ致シマシタル生徒ハドウナルカト云ヘバ其一部分ハ又翌年ヲ待チマシ  
テ、入學期ヲ待ツテ入學スルコトモ出來マセヌ、併ナガラ翌年ハ入學ノ機會  
ハ尙ホ今年ヨリモムザガシクナルノデゴザイマス、ソレ故ニ大部分ト云フモノ  
ノハ據ナク方向ヲ轉ジテ自分ノ志ニアラザル所ノ他ノ學校ヘ行キ或ハ中途ニ  
シテ廢學ヲシテ其方向ニ迷フノデアリマス、中ニ甚シイ者ハ其身ヲ誤ルニ至  
ル者モゴザイマス、サウシテ斯ウ云フ不幸ノ生徒ト云フモノハ年々ニ其數ヲ  
増加スルコト云フコトヲ思ヒマシタナラバ實ニ其結果ハ國運ノ進歩上容易ナラ  
ナイト云フコトガ了解サレデアラウト思ヒマス、今此教育ノ獎勵ト云フモノ  
ノハ實ニ何事ヲ措イテモ致サナケレバナラヌト云フコトハ何人モ認メル所デ  
ゴザイマセヌ、苟モ文明ヲ以テ觀セラルレバ國柄ニ於キマシテ國ヲ譽ゲテ之ガ  
獎勵ニ努メ及バトシテ唯其足ラナイノヲバ憂フル有様デゴザイマス、然ルニ  
我日本國ニ於テハ生徒ノ方カラ自ラ進ンデ學バウト云フノニ學校ガ足ラナイ  
タメニ之ヲ抑ヘ附ケテ學バセルコトガ出來ナイト云フ結果ヲ生ジテ居ルノ  
ハ實ニ何タル悲シイ有様デゴザイマセヌ、故ニ今是等ノ失望ヲシテ居ル所ノ  
數千ノ學生ヲ收容シテ之ニ其欲スル所ノ高等ノ教育ヲ授ケ、中途ニシテ其

方向ニ迷フヤウナコトノナイヤウニ致シマスノハ實ニ國家ガ今日盡スベキ所  
ノ大イナル義務ト考ヘマス、ソレナラバ茲デ幾ツ高等學校ヲ立テルトカ又何  
所ニ立テルトカ云フ問ガ起リマセヌ、是ハ其數ニ於キマシテハ財政上ノ都合  
モアルコトデゴザイマス、私ハ一ノ希望ヲ持ツテ居リマシタルケレドモ強  
テ幾ツト云フコトハ申シマセヌ、唯一ツデモ其數ノ餘計ニ立テラレルノ望  
ムノデアリマス、又位置ノ如キモ交通ノ不便、又氣候風土ノ良否其他色々  
攷究シナケレバナラヌ點ガゴザイマス、是ハ政府ニ於テ其邊ハ篤ト調査  
サレマシテ最モ適當ナル地方ヲ撰バレンコトヲ望ムノデアリマス、又之ニ附  
イテ一言申添ヘテ置キタイノハ鹿兒島ノ造士館デアリマス、是ハ一度高等中  
學校トシテ存立シテ居ッタモノデゴザイマシテ今日之ヲ高等學校トシテ復活  
スルノハ建物其他モ依然トシテ居リマシタル創設ノ費用等ハ誠ニ僅ナコトデ  
出來ルコトデアアラウト思ヒマス、既ニ一方ニ高等學校ノ増設ガ必要ト云フコ  
トヲ認メテ參リマシレバ之ニ關聯シテ又大學ノ必要ガ起ツテ參リマス、在來  
ノ大學ハ若シ今日ノ儘ノ計畫デ進ミマシタナラバ總令一方ニ高等學校ノ増設  
ガゴザイマセヌデモ他ニ據リマシレバ兩三年ノ後ニハ到底其生徒ヲ入ル、餘  
地ガナイノデアリマス、況シテ一方ニ高等學校ガ増シマシタナラバ實ニ其生  
徒ヲ入レルノニ困難スルノデアアラウト思ヒマス、ソレナラバ此兩三年ヲ待  
テ其必要ガ起ツタトキニ立テレバ宜イカト云フノニ決シテサウデナイ、大學  
増設ノ如キハ決シテ之ガ一朝一夕ニ出來ルモノデハナイノデゴザイマス、殊  
ニ之ニ要スル教師ノ如キハ最モ缺乏ヲ告ゲテ現在ノ大學デスラモマダノ教  
師ガ足ラズ、據ロナク一人ノ教師ガ講座ヲ兼ネテ持ツテ居ルト云フヤウナ有  
様デゴザイマス、ソレ故ニ私ハ政府ガ一方ニ於テハ在來ノ大學ヲ出來得ルダ  
ケ擴張セラレ同時ニ新ニ大學ヲ設置スル設計ヲ立ラレンコトヲ希望スルノデ  
アリマス、以上申述べタヤウナ理由デゴザイマシテ、今日高等學校及大學校  
ヲ増設スルコト云フコトハ實ニ學政上急務中ノ急ナルモノデアリマシテ、一日  
モ緩ウスルコトガ出來ナイノデゴザイマス、ソレ故ニ政府ハ何卒事情ノ許ス  
限又財政ノ許ス限一日モ速ニ之ガ増設ノ計畫ヲ立テラレテ其實行ト著手セラ  
レンコトヲ望ムノデアリマス、ドウゾ瀧場ノ諸君モ此案ノ必要ヲ御認下サイ  
マシテ是ガ滯ナク通過致シマシタルヤウ御贊助アラントヲ望ミマス  
○議長(公爵近衛篤磨君) 御發議ガナイヤウデゴザイマスカラ決ヲ採リマ  
ス、本案贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
議員起立  
○議長(公爵近衛篤磨君) 全會一致ト認メマス、然ラバ本案ニ可決シマシタ、  
今日ノ議事ハ是ニテ了リマス  
○子爵谷干城君 少シ發言ノ御許ヲ願ヒマス、モウ此處デ宜シウゴザイマス  
カ  
○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス  
○子爵谷干城君 此豫算委員會ノ儀デゴザイマスガ、本會ヘ委員ヨリ報告致  
シマスル事柄ハ當月限ト云フ御約束ニナツテ居ルト考ヘマス、然リマスルニ  
此主査會ニ於キマシテ唯今マデノ經過ヲ見マスルト是ハ當月ノ二十四日ノ約  
束デアリマス、ケレドモ逆モ約束期限通過ニ委員總會ニ報告スルコトガ出來ナイ  
ト存ジマス、現ニ私杯ノ受持ツテ居リマスル四科ニ於キマシテハ漸ク陸軍ノ方

ノ調査ヲ終ヘントスル所マデ運シテ居リマシテマダ海軍ヘハ手ヲ著ケヌ位デアリマス、段々其他ノ所ヲ承ツテモ同様ノ有様ニ聞エマスルデアリマスルカラ此主査會ノ期限ヲ今月限ト致シマシテサウシテ委員總會ヲ來月ノ七日ト致シマス、來月ノ七日ニ結了致シマシテ此議場ヘ御報告致スヤウニ致シタイト思ヒマス、此段ヲ申上ゲマシテ滿場ノ諸君ノ御賛成ヲ得タイト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 谷子爵ノ發議ニハ別段ニ御異議ハゴザイマセヌカ  
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ其趣ニ致シマス、次ノ月曜日ハ議案ノ都合ニ依リマシテ休ミマシテ二十四日ニ開會シマス、議事日程ヲ報告致シマス  
(太田書記官長朗讀)

午前十時開議

第一 下田幸三郎君、阿部賢吉君請暇ノ件

第二 商法修正案(政府提出)

第一讀會ノ續(特別委員  
長報告)

第三 所得稅法改正法律案(政府提出案)  
(議院送付)

第二讀會

第四 千葉縣茨城縣境界變更法律案(政府提出案)  
(議院同付)

會 議

第五 行政裁判法中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○議長(公爵近衛篤磨君) 今日ハ散會  
午後三時五十三分散會